

今週（7月19日から7月22日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、新しい積み期間に入ったことで、様子見姿勢を取る参加者が見られたものの、19、20、22日が財政等要因による大幅不足日であったこともあり、足元金利は堅調に推移した。

先週末の流れを引き継ぎ、無担保コールO/N物は朝方より▲0.04～▲0.03%にビッドが集まった。無担保コールO/N加重平均レートも▲0.04～▲0.03%での推移となるなど、マーケット動向をより反映した形となっていた。ターム物に関しては証券業態のロール案件が中心となった。積みの序盤であることや来週末の金融政策決定会合を控えている事もあって、オファーサイドは限定的であり、積極的な運用は見られなかった。

固定金利方式の共通担保オペは21日に2W・8,000億円がオファーされ、落札額は4,790億円（期落ち額2,690億円）の札割れとなった。

●レポ市場

今週のGCIは、19日のT/Nが、▲0.05%中心の出合いと、短国発行等の要因があったことから、高めのレートの出合いで始まったものの、S/Nでは、短国買入オペ等の要因があったことから、レートは、▲0.075%に低下した。その後レートは横ばい圏内で推移していたが、TB3M物の発行日となる21日のS/Nでは、売り手の資金調達意欲が強く、レートは▲0.06%まで上昇した。しかし、22日のS/Nでは、短国買入オペ等の要因で、レートは低下し、▲0.085%中心の取引となっていた。

SCは、新規・ロールオーバーともに幅広い銘柄で取引が見られた。個別銘柄では、10Y340～343回、30Y49～50回、40Y9回にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、売却が進んでいないと見られる3Mゾーンで▲0.285～▲0.26%が出合う等、小甘い展開となった。

19日には短国買入オペが過去最高水準の35,000億円でオファーされ、結果は平均利回較差+0.043%、按分利回較差+0.031%（按分比率55.7%）となった。引値の低い特定の銘柄が中心となって落札されたと考えられる。21日には3M物の入札が実施された。買い手が限定される中でレート上昇が期待されていたものの、WI取引で▲0.29%から▲0.295%まで買い進まれる動きが見られたこともあり、結果は平均落札利回▲0.2685%、按分落札利回▲0.2505%（按分比率57.7784%）と前回からやや上昇した程度にとどまった。セカンダリーでは▲0.285%と堅調に推移した。22日には今週2回目となる短国買入オペが15,000億円でオファーされた。オファー通知後は一部銘柄で小甘い出合いがみられたものの、応札額は25,000億円程度と予想より少なく、平均利回較差+0.004%、按分利回較差▲0.012%（按分比率46.2%）としっかりした結果となった。

●CP市場

今週のCP市場は、賞与の資金需要が見られ、まとまった発行案件が実施された。ノンバンク、電気機器業態などが発行の中心となり、週間償還総額1,800億円程度に対し、週間発行総額4,700億円程度の発行超となった。

前回のCP等買入オペで応札額の減少が見られたものの、按分レートが横ばいとなった事から、発行レートは一部の発行量の多い銘柄や期間の短いもので小幅上昇の動きがみられた。しかし、依然として期間の長い案件やプラス圏での購入需要は底堅く、金利上昇は限定的となっており、概ね0%近辺での推移となっていた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
7/18（月）						
7/19（火）	16,723.31	△ 0.234	105.90	△ 0.040	△ 0.052	2,978,500
7/20（水）	16,681.89	△ 0.243	106.01	△ 0.037	△ 0.077	2,967,400
7/21（木）	16,810.22	△ 0.235	107.21	△ 0.035	△ 0.078	3,010,400
7/22（金）	16,627.25	△ 0.230	105.86	△ 0.030	△ 0.072	2,997,700

来週（7月25日から7月29日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
7/25 (月)	月例経済報告 (内閣府) 6月の貿易統計(財務省 8:50) 5月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)				
7/26 (火)	6月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)	40Y 4,000億円 7/28発行	交付税借入 10,500億円 8/4借入		米FOMC(1日目) 5月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 6月の米新築一戸建て販売件数 7月の米CB消費者信頼感指数
7/27 (水)					米FOMC(2日目) 4-6月期の英GDP速報値 6月の米耐久財新規受注
7/28 (木)	日銀政策委・金融政策決定会合(1日目 14:00~)	TB3M 44,000億円 8/1発行	2Y 23,000億円 8/15発行	交付税借入 10,500億円 8/9借入	
7/29 (金)	日銀政策委・金融政策決定会合(2日目 9:00~) 経済・物価情勢の展望 日銀総裁定例会見(15:30) 7月都区部・6月全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 6月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 6月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 6月の一般職業紹介状況(=有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 6月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 6月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 6月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)				4-6月期の米GDP速報値 7月のシカゴPM景況感指数 7月のユーロ圏消費者物価指数速報値 4-6月期のユーロ圏GDP速報値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
7/25 (月)	▲ 400	▲ 8,600	▲ 9,000	全店共通 国債買入 CP買入 社債買入 国債補完	▲ 2,700	4,800 11,600	13,300	4,300	TB3M発行▲44000償還22000
7/26 (火)	1,000	▲ 5,000	▲ 4,000	社債買入 短国買入		1,000 15,000	16,000	12,000	流動性供給▲5000
7/27 (水)	▲ 1,000	0	▲ 1,000				0	▲ 1,000	
7/28 (木)	▲ 1,000	▲ 5,000	▲ 6,000				0	▲ 6,000	40Y発行▲4000 交付税借入▲10500期日10500
7/29 (金)	▲ 1,000	25,500	24,500	CP買入		3,500	3,500	28,000	保険料等交付金の支払
週間合計	▲ 2,400	6,900	4,500	—	▲ 3,200	36,000	32,800	37,300	

7/25は日銀予想、7/26以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は25日にTB3M発行超過、28日は40Y発行に伴う不足日になると予想される。また、29日は保険料等交付金の支払で余剰日となることが見込まれる。無担保コールO/N物は、引き続き底堅い状態が続くと見られるものの、金融政策決定会合最終日を29日に控えていることもあり、29日は調達サイドが様子見となる可能性も考えられる。短国市場は、28日に3M物の入札が予定されている。政策決定会合を控え、様子見の地合いが続くと考えられる。CP市場は月末週であり、活発な発行が予想されるものの、長期の優良銘柄についてはディーラーの買い意欲が依然として強く見られており、発行レートは横ばい圏内での推移が予想される。26日にCP等買入オペが実施される予定であり、落札レートに変動があるか注目される。

主要なイベントとしては、26~27日のFOMC、27日の4-6月期の英GDP速報値、28~29日の金融政策決定会合、29日の展望レポート、6月の全国消費者物価指数、4-6月期の米GDP速報値、4-6月期のユーロ圏GDP速報値などが挙げられる。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くことがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。